

# 大型図書紹介記事

【様式3】

選定年度	所属学部	氏名	大型図書タイトル	紹介記事
2019	政策学部	只友景士	再生可能エネルギーの普及に関する政策的検討のための欧米学術文献コレクション	<p>人類は、石炭・石油などの化石燃料をエネルギーとすることで、近代文明を発展させてきた。しかし、20世紀後半から、化石燃料使用で排出される二酸化炭素には温室効果があると考えられるようになってきた。化石燃料の使用が、二酸化炭素濃度を上昇させ、温室効果をもたらし、地球温暖化等気候変動の原因とされている。近代文明を築いてきた化石燃料の文明は、気候危機という現代文明の危機を生み出したとも言えるであろう。こうした気候危機は、脱炭素という大きな人類文明の転換点を作り出しつつある。</p> <p>本コレクションは、エネルギーの脱炭素の切り札の一つと考えられる「再生可能エネルギー」の普及に関する欧米文献コレクションである。欧米における再生可能エネルギーに関する議論を幅広く網羅している。再生可能エネルギーの世界各地における状況、風力、バイオマス、太陽光など個別エネルギー源ごとの文献、総論的な論説など幅広い探究を可能にする文献コレクションである。</p>